

アンケート集計結果(2005.1.26)

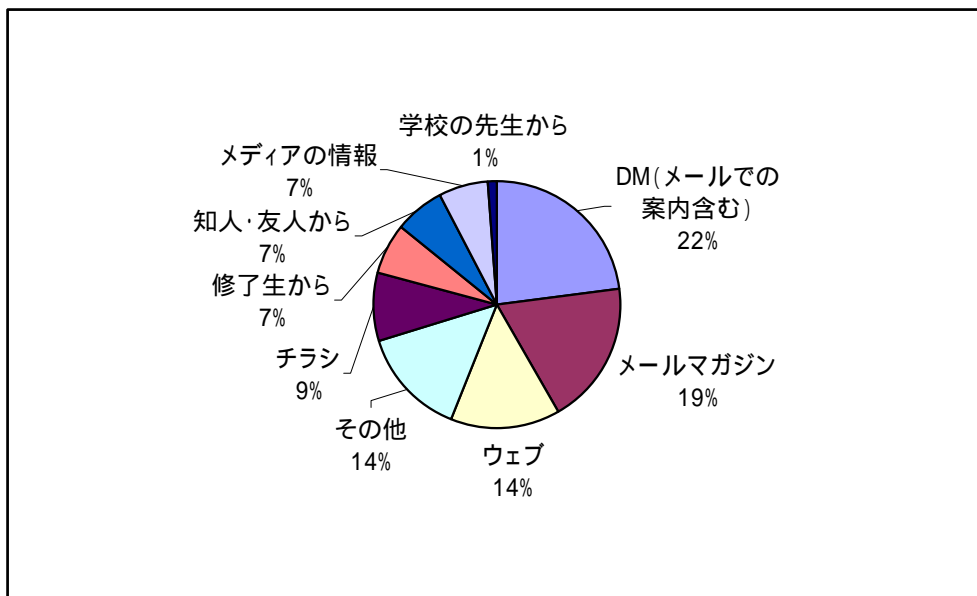
参加者数 134 名

アンケート回収 86 枚

回収率 64%

【シンポジウムについて】

1. 本シンポジウムは何で知りましたか。 をつけてください。



チラシ	8	
修了生から	6	
知人・友人から	6	
学校の先生から	1	
DM(メールでの案内含む)	21	
ウェブ	13	NEC 社内イントラ、JEEF、KEEP、環境省、環境 goo
メールマガジン	17	JEEF(12)、KEEP(1)、NEC 社内メール(2)、OV(2)、国際協力マガジン(1)
メディアの情報	6	読売新聞(2)、地球の子ども(1)、NEC 社内の環境ニュース(1)、化学工業日報(1)、日経新聞(1)
その他	13	NEC 森の人づくり講座スタッフからの情報(10)、講座参加者同士の ML(2)、エコプロダクツ 2004 会場(1)など

2. シンポジウムへ参加した目的は何ですか。 をつけてください。(複数回答可)

環境教育に興味があるから	70
基調講演に興味があるから	32
NEC の社会貢献事業に興味があるから	24
修了生に興味があるから	27
「森の人づくり講座」に興味があるから	20
人材育成に興味があるから	20
パネリストに興味があるから	12

仕事に関係があるから	16
その他 理由) 修了生だから、仲間と会えるから、シンポジウム開催のため勉強にきた	5

3. シンポジウムに参加していかがでしたか。 をつけてください。

A 基調講演

とてもよい・意義があった	よい・面白かった	とくに何も思わない	参考にならなかった
44	37	0	0

B 事例報告

とてもよい・意義があった	よい・面白かった	とくに何も思わない	参考にならなかった
39	36	1	1

C パネルディスカッション

とてもよい・意義があった	よい・面白かった	とくに何も思わない	参考にならなかった
27	30	2	1

D シンポジウム全体の印象はいかがでしたか。

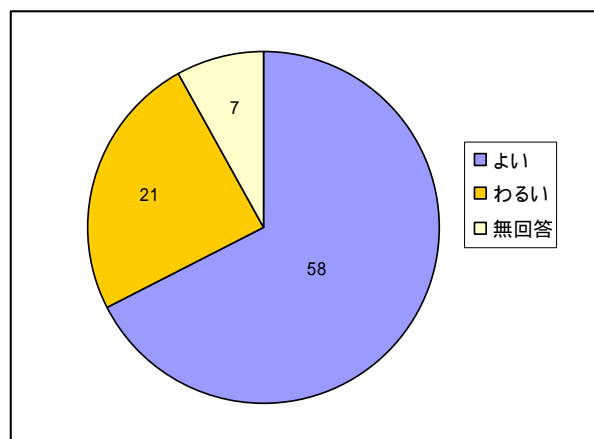
とてもよい・意義があった	よい・面白かった	とくに何も思わない	参考にならなかった
32	32	0	0

4. 日時についてご意見をお聞かせください。どちらかに をつけてください。

よい 58

わるい 21

- ・ 週末開催希望
- ・ 学生・仕事がある人は来られないのでは？
- ・ 学生はテスト期間中
- ・ 仕事を休む必要があった
- ・ 14 時開始で食事の時間がとれなかった など

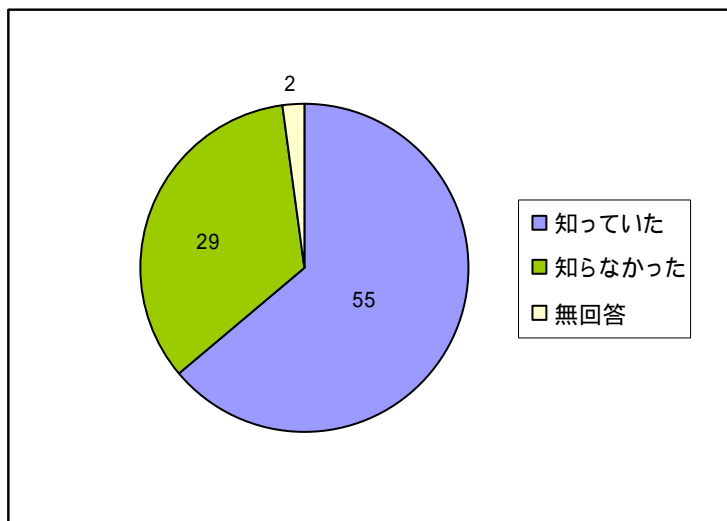


【NEC 森の人づくり講座について】

5. 「NEC 森の人づくり講座」をご存知でしたか。あてはまる方につけてください。

知っていた 55

知らなかった 29



6. 今後の「NEC 森の人づくり講座」に期待することはありますか

講座の継続について

- ・ 長期型の養成講座は絶対必要だと思います
- ・ 今後も時間をかけて人材育成を期待します
- ・ 今年書類選考で落ちてしまったので、来年もぜひやってほしいです！
- ・ このような地道な人づくり講座の維持に期待する
- ・ 100年続けてほしい、1週間近くにわたっての人材育成事業は他になく貴重なもの。ぜひ続けていただきたい。(同様 28 件)

修了生へのサポート・ネットワーク作り

- ・ 修了生への講座サポートの呼びかけ、修了生の交流
- ・ 修了生同士のネットワークを築ける場を設けていただきたい
- ・ ますますの発展を。これからもネットワーク作りの場であってほしい。

講座の内容について

- ・ 今までやってこられたような変化色のある講座、環境教育をキーワードに幅のある仕事
- ・ 指導者養成として根付いていると思う。これからも進めてほしい。学生の可能性を広げてもらいたい
- ・ 今後もよりバラエティあふれる講座を用いて欲しい
- ・ 今までと同じく、人と人とのつながりを大切にしたいです。あと、食についても考えてみたい

参加対象者、開催方法について

- ・ 環境系の勉強をしていない人にも参加してほしい
- ・ 続けてください。あと、この講座が入口の人たちにたくさん受講してもらいたい。大学でも専門学部、学科の人たちのステップアップ的な位置づけが側面ばかりが高まってきていると思います。
- ・ 日程の関係から参加できる人がある程度限定されていると思われます。もっと対象者が広げられるような講座も作った方

がより認知されていくのではないかと思います。

- ・ 限られた人数、期間のプログラムではなく、環境、自然に興味のある多くの学生を対象としたプログラムやネットワークづくりの場の提供を期待します。
- ・ 森の人づくりのみでなく、都会での人づくり、都会での活動にも力をかしていただきたい。たとえば都会での環境教育とか。
- ・ 企業に勤めるものも参加できたり、親子体験型また30代以降のものも興味ありますよ。
- ・ 社会人を対象にした講座もぜひ！

広報について

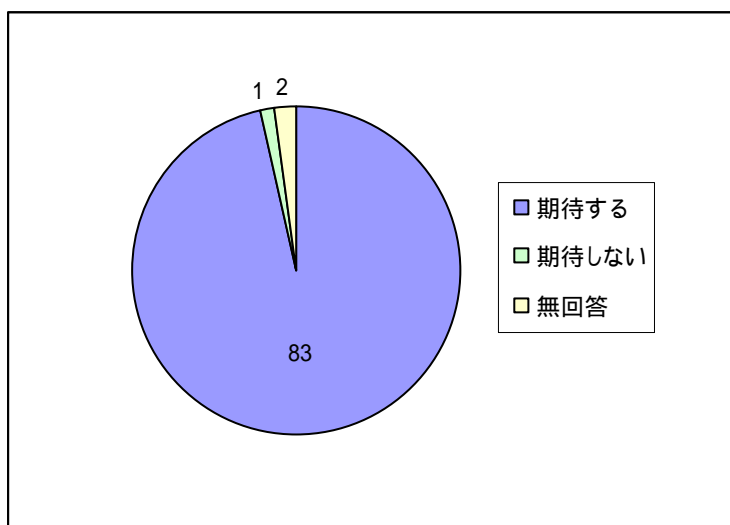
- ・ 報告は広く発表して、多くの実りを確かなものへ
- ・ 今回のシンポジウムに参加した100名の人たちだけでなく、もっと多数の人々にもこのシンポジウムの内容を伝えてはいかげでしょうか。例えばテレビで放映するとか、ビデオを制作し、必要とする人に配布するとか、きっと需要があると思います。
- ・ NEC の社員ほぼ全員が知っているようになると思う。せっかくよいことをしているから。
- ・ ストップ温暖館の話が出たが、今後はマスへの訴えかけ、特に生活・都市・くらし系の話題も重要になると思います。今後はそうした方面への発展も期待したいと思います。

その他

- ・ 参加してみたい
- ・ 今後も若い人の教育のサポートをお願いしたい。森、自然を通じての人脈は素晴らしい。
- ・ もっと広い分野からいらっしゃる講演がききたかったです。
- ・ 学校での環境教育に対し、学校の先生をフォローしてもらえたらと思います。若者がこれだけ環境問題に興味を持ち、携わっていることに喜びを感じました。これからも続けていって人材を増やしていただけたらうれしい。NEC 社員の家族として、社会貢献している社の姿勢、応援しています。
- ・ 環境を守る活動が省エネで行われる方向を考えることも必要。(例：愛・地球博シンポジウムで莫大なチラシが使われて捨てるものが出る)

7. 今後もこのようなシンポジウム開催を期待されますか。あてはまる方につけてください。

期待する 83
期待しない 1



8. 取り上げてほしいテーマ・興味のあるテーマはございますか。

修了生・森の人づくり講座

- ・ 修了生の活躍、目指す方向
- ・ 修了生の方々が現在取り組んでいる環境活動についてもっと詳しく聞きたいです。また、企業の取り組む環境活動というテーマ(経済活動の中の環境保全など)

テーマ

- ・ 文明と環境
- ・ 食について
- ・ 地球温暖化
- ・ 環境教育における価値観
- ・ 生活環境、保全、自然環境保全、野生生物保全など個別のカテゴリーに注目したテーマを取り上げていただけたらと思います。各分野の交流も期待できると思います。
- ・ 人権、平和も環境に関わる重要テーマだと思います。
- ・ 農業、海や川の人づくり講座
- ・ プレイパーク、冒険教育など
- ・ お金と環境
- ・ 経済、政治と環境
- ・ NEET、CSR、ひきこもり
- ・ マスに向けての環境教育の可能性、あり方について
- ・ 環境系を仕事とすること
- ・ 大人のための環境教育

企業

- ・ 資金面以外での企業と展開のコラボレーションの可能性について
- ・ 企業の社員への環境教育
- ・ 「企業と環境(教育)」をテーマにディスカッション。今日出た話だけでもとても興味深かったので。企業だけ集まったものでは建前論になりがちなのでぜひ。

事例

- ・ 環境教育が具体的に環境保全・回復につながった事例
- ・ 環境教育の指導者養成を各地で展開している受講生の事例発表だけだったが、もっと各方面で取り組んでいる方が多いと思うので幅広く紹介してほしい
- ・ まちづくりとの関わり、街中の自然を守る、まち(公園や河川など)を使った環境教育
- ・ 自然学校だけでなく、環境教育はどんな場所で展開されているか

学校

- ・ 学校教育(義務)の中心に環境教育
- ・ 学校教育に求められる環境教育

- ・ 学生から見た社会人の環境への取組み

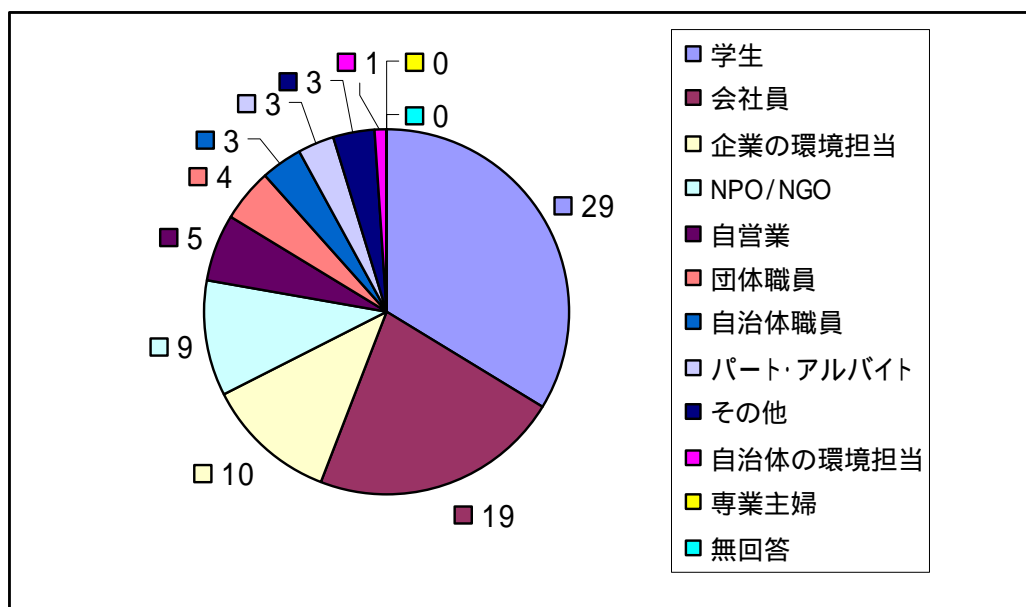
その他

- ・ 世界の中で日本がどう働きかけられるか。また、世界から戻って日本らしくどう世界の規約や取組みを元に環境教育ができるか
- ・ 森林とビジネスにするには？もっと利用価値があるはずだと思います。そしてそれにより森林が増えれば環境対策につながると思います。
- ・ 環境教育は本当に必要かを疑ってみる(ことで本当にやるべきことを探す)
- ・ 環境教育とか、自然体験プログラムは、産業として成り立つか。成り立たせてよいのか。
- ・ 母子家庭、父子家庭の家族が参加できるプログラムを自治体といっしょにつくるのをテーマとしてやってほしいです。
- ・ 環境教育や自然体験の経験に乏しい20代～30代の人々にどうスポットをあてるかをやってほしい
- ・ 学生、企業人環境教育を仕事とする人、行政、様々な分野、立場の人々が、ひとつの同じテーマについて煮詰めあえる場

差し支えない範囲でかまいませんので、あなたのプロフィールをお答えください。

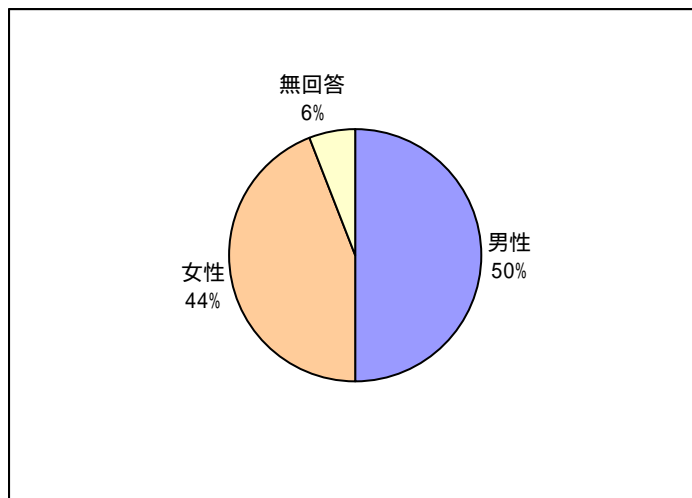
[職業]

学生	自治体の環境担当	自治体職員	企業の環境担当
29	1	3	10
会社員	自営業	パート・アルバイト	団体職員
19	5	3	4
NPO/NGO	専業主婦	その他	無回答
9	0	0	0



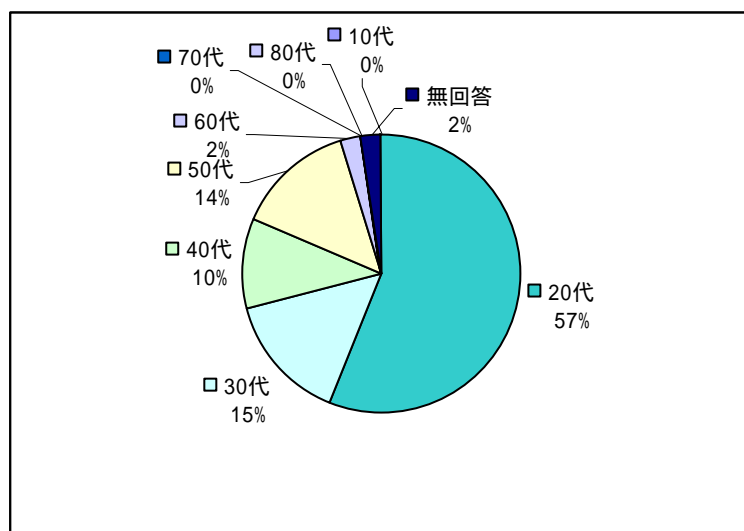
[年齢]

女性	男性	無回答
43	38	5



[性別]

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答
0	49	13	9	12	2	0	0	2



[お住まいの地域]

東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県
25	14	8	6
京都府	大阪府	茨城県	山梨県
4	3	2	2
新潟県	静岡県	兵庫県	北海道
2	2	2	1
長野県	愛知県	奈良県	滋賀県
1	1	1	1

ご要望・ご質問・ご感想など自由にお書きください。

- ・ 今日お話を聞いて新しい気づきや「そうだった！」という、ふりかえりになりました。これから自分自身が考えること、やらなければいけないこと、少しずつやっていきたいと思います。(20代女性)
- ・ 森の人づくり講座へ社会人の参加者が見られず残念です。もしおられたらパネラーとして出席していただきたいと思います。(50代男性)
- ・ 今日色々な興味深い話を聞かせて頂き、ありがとうございました。皆様のお話を聞きながら、自分が参加した時を思い出し、再びやる気を持つことができました。色々な活動を通して環境教育はできると思います。どんな形になるかわかりませんが、どんな形でも環境に関わっていきたいです。興味が無い人にも興味がある人にも今後メッセージを伝えられたら…。まず、身近な人から、簡単なことから始めていきたいです。(20代女性)
- ・ 修了生の歩みを聞くことができてよかった。自分のこれからを考える上で非常に参考になった。(20代女性)
- ・ この数年、環境教育の現場からはなれ、まったく関係のない仕事をしています。なんだか物足りなくなってきました。(仕事に追われる日々)また、山に戻る日も近そうです。心をリセットすることができました。ありがとうございました。(20代女性)
- ・ とても有意義なシンポジウムでした。言葉ではとても表現できなさそうなので、今後の自分の活動をはじめること、続けることで今回のシンポジウムで得たことを表現していきたいと思います。本日はありがとうございました。(20代女性)
- ・ 今の仕事の中で環境教育に携わる事業を立ち上げるか、はたまた、会社をやめ、もっと現場に入って仕事とするか、悩み中です。ひとつ言えることは具体的な知識・体験をもっと身につけたいという欲求が高まっているということ。この欲求を現実の行動として何らかの動きを今年取りたいと思っています。がんばるぞー。競争 共生進化 この話は21世紀の姿ですよ。おそらくこれからは足早に意識のレベルが上がっていい方向に向かうと思っています。(30代女性)
- ・ ありがとうございました。(40代男性)
- ・ 人を育てる、自然体験だけではなく、都会で働きながら環境に対する意識変革をする学校をやっています。緑の家学校と申します。今年度5年目になり、まだまだの学校ですが、孤立無援でやっています。昨年にやっと NPO 法人となり活動がひろがりはじめました。ぜひ、森の人づくり講座の方々とネットワークを張りたいと思います。(50代女性)
- ・ 環境問題を考える上でとてもよいきっかけとなりました。今後はこのような機会に参加できる時間をつくっていききたいと思います。(40代男性)
- ・ 時間の割には内容がもりだくさんすぎたように思う。みんな語りたがり？ポイントしぼってゆっくり話してもらった方がいいのでは？今後の環境教育というより、体験発表会という感じ。成功者の話より逆に環境に携わっていない卒業生の話もききたい(その後の考え方の変化など)(40代女性)
- ・ 若い人たちの環境への取組みなど聞くことができました。これからもこのようなシンポジウムにできるだけ参加し自分としてのマインドを見出したいと思います。(家庭・個人でできること、会社内でできること)ありがとうございました。(50代男性)
- ・ 市内の中央公園に残る谷戸の田畑・雑木林を維持し、子ども達への環境教育を行って10数年活動を続けている鎌倉中央公園を育てる市民の会に参加しています。去年からは市との協働事業になっています(ただし予算はあまりなくほとんど無償状態)狭い場所ですが、大昔に田んぼがはじまった原風景のような場所ゆえ後世に伝えていく意義は大きいと思っています。特に小中学生に年間通して作業することで「大切さ」が伝わっていくことで意義を感じています。こうした活動を続けていくために NEC で助成金制度があればうれしいです。こういう活動があることを若い意欲のある人に知ってもらい、担い手と参加してもらえととても心強いです。中心メンバーが50代になってきているので。(50代女性)
- ・ パネルディスカッションで修了生たちのキャラクターや経験、生き様をもっと引き出してあげて欲しかったなと思います。(40代男性)
- ・ 第2回キープの修了生です。今日8年前のことを思い出しました。同時に失いかけていたモチベーションと元気を取り戻した感じです。環境関係の仕事には携わっているものの(事務屋なのでいつ外れるかもわかりませんが)、日々の仕事に忙

殺されて常に気持ちが疲れている状態でした。東京まで来るのは少し遠かったですが、あのときの気持ちを思い出させて頂けただけでも私には収穫がありました。ありがとうございました。(20代女性)

- ・ 自然(森林)体験以外にも環境教育すべきことがあると思います。森林というフィールドに出ることは都心に住む者にとっては簡単なことではありません。今、行われている環境教育は森林体験型ばかりです。そういったフィールドに出なくともできる、すべき環境教育はあると思います。ゴミ、エネルギー、農業、食などなど考える場合は森林でなくともできないでしょうか。こういったものを伝える環境教育の手法を知りたいです。(20代女性)
- ・ 就職活動の合間に息抜きがてらにやってきました。3時間は長いかなと思いましたがそれぞれの方々の話に関性があり楽しませていただいたおかげで、短く感じました。KEEP、OAK ともに興味があつたので、代表者の方々のお話を聞いて少しわかつた気がしました。色々な角度から環境問題への貢献の仕方がありますが、今回のシンポジウムを思い返してもう一度、将来の仕事、就活を考えて見たいと思いました。本日はありがとうございました。(20代女性)
- ・ 現在、実際に活動されている方々のお話を聞く貴重な機会になったと思います。今後もこうした機会を作っていってほしいと思います。これから先、進んでいくにあたって、勇気みたいなものをもらった気がします。(20代女性)
- ・ 参加者の大多数が若い人であることに感心した。一企業が環境を考え、取り組む人を育てているのですね。できるだけ継続させてください。(60代男性)
- ・ このような機会に参加させていただきましたこと感謝しています。私の思っていること感じていることを環境教育に携わる者として社会に貢献できたらと思っています。ありがとうございました。(20代女性)
- ・ パネルディスカッションで参加者との対話をもっとほしかつた。(50代男性)
- ・ 地球サミットのときが大学4年でまた環境教育という言葉が出はじめの頃、就職活動をしました。オークヴィレッジやKEEPの活動は知りませんでした。これあつても NEC の取組みは大きな人の輪と森作りにつながつると思います。またお会いしたいと思います。(30代男性)
- ・ 環境教育の分野で若者が就労できる社会が広がっていることを知つた。与えられたものでなく、自ら切り拓いた仕事を創造する若者たちを応援したい。(50代・男性)
- ・ 「これからの環境教育、その可能性」という表題に沿つた部分がほとんどなかつたので、残念でした。事例報告内容は吟味が必要では？一方パネルディスカッションの内容は参考になる部分が多かつたので、この時間を多くとってもらえればよかつたと思います。(30代男性)
- ・ パネルディスカッションの時間が短いようでも残念でしたが、皆さん限られた時間の中で一生懸命説明してくださつて、大変ためになりました。今回初めてこの事実を知り、学生の方がうらやましくなりました。学生の方にはいっぱいこつた事業に参加して欲しいです。(20代女性)
- ・ 環境教育ということを改めて整理して考えることができました。今環境教育に関わられている方の経験をお聞きでき、自分の進路の大きな参考になりました。ありがとうございました。(20代男性)
- ・ NEC にはこれからもこの活動を続けていただきたいです。こつたことを続けるのは大変でしょうが、頑張ってください。(30代男性)
- ・ 時間が短かつたと思います。特にディスカッションはもっと聞きたかつたです。(20代女性)
- ・ 自分自身は今社員で環境教育から離れていますがあの濃い時間の経験はミーティングや企画、プレゼンなど数多くの場面で役立っています。何かまた恩返しのできるような活動をしたいと思います。(30代男性)
- ・ 来てよかつたと思う。可能性が見えた気がします(20代)
- ・ これからも講座は続けるんでしょうか？それとも「一区切り」ということであつたん終了するのですか？その点がよく見えませんでした。(20代女性)
- ・ 私自身、今春大学院に進み、深めたことを環境教育に生かす仕事につきたいと漠然と考えており、道が確実ではないの

で不安を感じ、迷い、悩むこともある最近でしたが、修了生の方で院に進んでその後また様々な世界に踏み出している方、環境教育の内容、方法が一通りでない。NEC さんのような企業とタイアップしてできることなど新しい方向、可能性を感じ、大変勇気づけられヒントをいただきました。パネルディスカッションも環境に興味のない人をいかにひきつけるか、稲本さん、川嶋さんが話される内容も私の興味、関心に合致しており、大変有意義でした。ただ、他の方はどうだったのか気になります。自分も環境の波にのる準備員の一人になりたいです。(20代女性)

- ・ 楽しかったです。そう思えるシンポジウムってあまりないと思います(20代男性)
- ・ このシンポジウムが根っこになって、たくさんの企業さんの参加を期待します。そして、内部にも環境教育、体験事業を進めてほしいと思います。(20代女性)
- ・ ありがとうございました。

以上です。